

ふくやま未来づくりビジョン

～5つの挑戦の深化～

2019

はじめに

私が就任以来、全力で取り組んできた5つの挑戦の集大成が、この「ふくやま未来づくりビジョン2019」です。

5つの挑戦については、1年目は実行、2年目は加速の年と位置付け、スピード感を持って取り組んできました。福山駅前の再生、福山ネウボラや妊娠・出産支援制度の拡充などの子育て施策、中学校給食など教育環境の整備、福山城築城400年記念事業など、一定の成果が出始めているものと考えております。一方、頻発する自然災害を始め、少子化、超高齢化、人口減少の進行など課題への対応や、備後の拠点都市としての魅力向上は急務であり、これらの取組を更に「深化」させなければなりません。平成から新たな時代への移行期にあたり、福山が未来に向けて発展していくためには、万全の備えと時代を先取りする感性、そして、行動が求められます。

そのため、新年度は、「未来を切り拓く予算」として、

- 頻発する自然災害への備え
- 本格化する人口減少への備え
- 備後の拠点都市としての備え

に取り組んで参ります。

具体的には、「二度と床上浸水被害を起こさない」との強い決意の下、国や県と連携した抜本的な浸水対策を5年間でやり遂げます。戦略推進マネージャーが民間ならではの視点やネットワーク力を生かして構想した新たな人口減少対策に着手します。福山駅周辺の再生に向けて、福山城築城400年記念事業、駅北口広場の再開発、三之丸町地区の再生を本格的に始動させます。総合体育館・公園や（仮称）かわまち広場も完成させます。また、未来を担う子どもたちが健やかに成長するための支援にも全力を注ぎます。

こうした取組を中心に5つの挑戦を深化させることで、市民の皆様が安心・安全に暮らすことができ、子どもから高齢者までが魅力と誇りを感じる都市づくりを進めていきます。

引き続き、「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本に据え、本市が将来にわたり備後の中核都市として輝きを放ち続けるよう、未来への礎を築いて参ります。

福山市長 枝広 直幹

未来を切り拓く予算 ~5つの挑戦の深化~

① 新時代に向けた3つの「備え」

(1) 頻発する自然災害への備え

平成30年7月豪雨災害では、市民の尊い命が失われました。また、約2,000haが浸水するなど、甚大な被害を受けました。このような被害を二度と起こさないよう、国・県と連携して浸水対策を大幅に加速するなど、自然災害への備えを強化します。

【主な施策】

- ・排水施設の整備
- ・河川や水路の改修
- ・自主防災組織の活動支援
- ・総合防災訓練の実施



(2) 本格化する人口減少への備え

新たな人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに9つの人物像を設定し、それぞれに特化した施策を産業界や金融機関、大学と連携して重点的に進めます。

【主な施策】

- ・子どもの医療費助成制度の拡充
- ・保育人材確保の強化による保育の質的向上
- ・市内企業と市外学生とのマッチング強化



(3) 備後の拠点都市としての備え

福山駅前の再生や民間企業・大学と連携した先端技術によるまちづくりの推進など、魅力と活力あふれる都市づくりを進めることで、人や企業、情報が集まる備後の中核都市としての拠点機能を高めます。

【主な施策】

- ・福山駅前の再生
- ・まるごと実験都市ふくやまの推進
- ・ばらのまち福山国際音楽祭
- ・スポーツを核とした地域活性化



・ふくやま未来づくりビジョン2019 当初予算額 **約165億円** (再掲分を除く) 【一般会計 政策経費の約43%】

・国の補正予算に伴う前倒しを実施(2018年度3月補正予算対応)

事業費約9億円(小中学校施設の耐震化) ⇒ 前倒し分を含めた実質的な事業費 約174億円

② 未来を支える人づくり ～子どもたちの健やかな成長を支援～



子どもの医療費助成制度の拡充

- ・多くの市民の声を受け、医療費助成制度の対象を中学生まで拡充し、未来を担う子どもたちの健やかな成長を社会全体で支えます。

対象を
中学生までに！



小中学校への空調設備整備

- ・子どもたちの望ましい教育環境づくりのため、国の臨時特例交付金を活用して、空調設備を2019年度末までに整備を終えるよう前倒しします。
(当初、小学校:2021年6月末まで 中学校:2022年5月末まで)

2019年度内に
整備！



芸術・文化体験の充実

- ・子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、美術館や音楽祭に招待します。
 - ・10歳の君へ ようこそ美術館プロジェクト
(全小4児童を美術館に招待)
 - ・ばらのまち福山国際音楽祭に全小5児童を招待

ホンモノの
芸術・文化を体験

2 新時代に向けた3つの「備え」

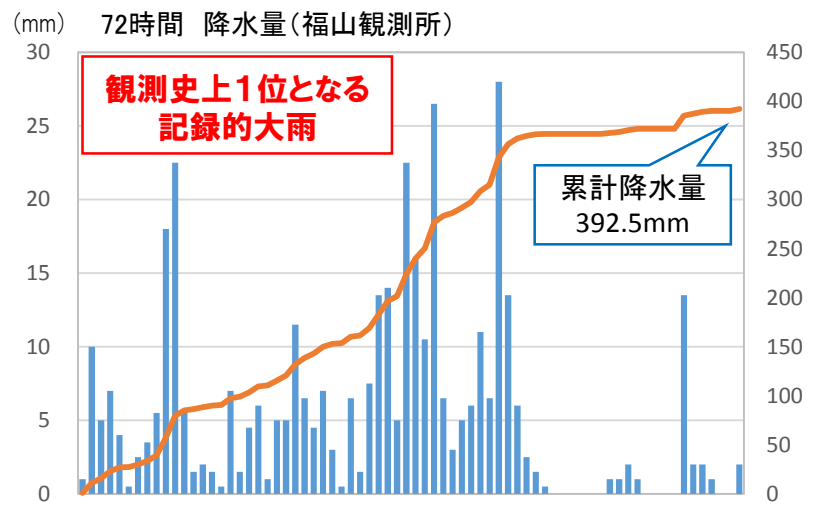
(1) 頻発する自然災害への備え (予算額:4,847,464千円)

平成30年7月豪雨災害では、市民の尊い命が失われました。また、約2,000haが浸水するなど、甚大な被害を受けました。このような被害を二度と起こさないよう、国・県と連携して浸水対策を大幅に加速するなど、自然災害への備えを強化します。

平成30年7月豪雨災害

- ・72時間雨量 392.5mm (2年前の大雨被害時の約2.6倍)
- ・24時間最大雨量 238.0mm
- ・浸水面積 約2,000ha
- ・床上浸水被害棟数 1,298棟(2018.10.30時点調べ)

二度と床上浸水被害 は起こさない!



国, 県, 市, 水利関係者による
「福山市域における浸水対策協議会」
(2018年8月設置)

8月: 降雨の状況や被災状況

11月: 浸水対策のとりまとめの方向性

2月: 浸水対策のとりまとめと今後の取組について



① 抜本的な浸水対策 一対策期間5年一

国・県と連携した大幅な加速

概ね

5年間(～2023年度)




集中実施!!



(2) 芦田川中流域
(服部川, 西谷川 など)
【県】河道掘削,
堤防浸透対策検討
【市】河川整備,
排水機整備

(4) 瀬戸川流域(瀬戸川, 福川 など)
【県】河道掘削, 河川改修,
排水機場整備
【市】ポンプゲート整備,
水路改修,
浸水対策検討

(6) 松永地域
(藤井川, 羽原川 など)
【県】河道掘削
【市】水路改修, ポンプ増設,
仮設ポンプ整備,
雨水貯留施設整備,
雨水枝線整備

凡例	
	浸水区域
	芦田川・高屋川(国)
	県管理河川

(3) 高屋川・小田川流域

(8) 市域全体
【国・県】危機管理型水位計等設置
【市】河川・水路掘浚, 止水板設置補助

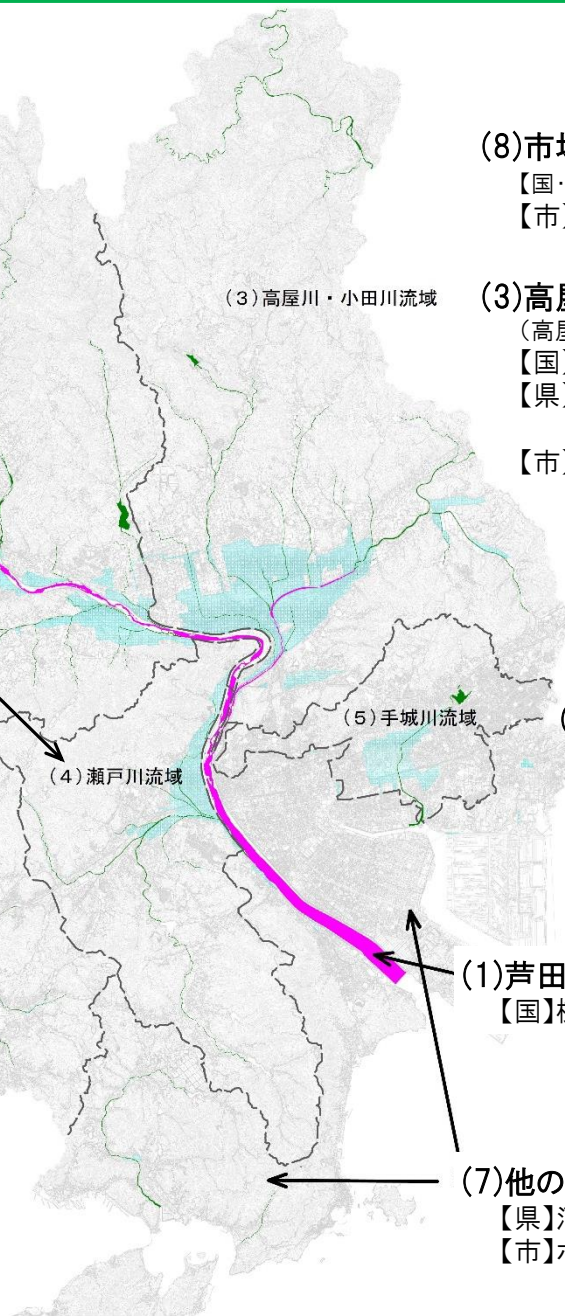
(3) 高屋川・小田川流域
(高屋川, 吉野川, 天王前川 など)
【国】樹木伐採, 河道掘削
【県】河道掘削, 堤防浸透対策検討,
排水機整備(調整中)
【市】雨水貯留施設整備,
ポンプゲート整備,
ポンプ場及び雨水幹線整備,
ポンプ増設

(5) 手城川流域

(5) 手城川流域
【県】河川改修, 排水機整備
(調整中)
【市】内水排除対策施設整備,
雨水貯留施設整備,
樋門撤去

(1) 芦田川
【国】樹木伐採・河道掘削

(7) 他の地域(山南川 など)
【県】河道掘削
【市】ポンプ整備, 雨水枝線整備



② ため池の安全対策の強化

迅速で安全な避難行動の促進

防災重点ため池のハザードマップによって、決壊した場合の浸水範囲や避難場所などを周知し、地域住民の迅速で安全な避難行動につなげる

- ・**新**地元住民への説明会開催
- ・**新**公民館などへのハザードマップ設置
- ・**新**ホームページでの情報発信

防災重点ため池の再選定

- ・**新**国が示した新たな基準に基づき、県と連携し再選定

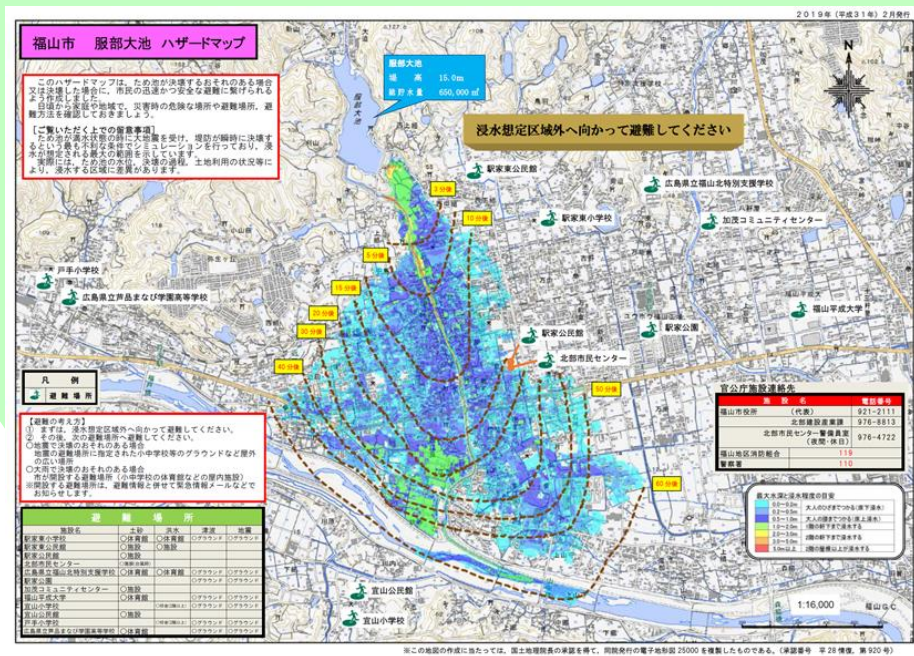
ため池の廃止

- ・**新**使用されていないため池の廃止検討

ため池の耐震化

- ・光林寺池(熊野町)
- ・大池(神辺町)
- ・**新**川原山池(坪生町)
- ・**新**茂浦池(熊野町)

【防災重点ため池のハザードマップ(市内175か所)】



【ため池耐震化工事前後(イメージ)】



③ 自助・共助を中心とした地域防災力の強化

総合防災訓練の実施

- 大規模災害を想定した訓練の実施
 - ・地域住民(避難場所への避難)
 - ・市, 国, 県, 自衛隊などの関係機関(初動対応や情報伝達の連携など)

防災情報の伝達力強化

- ⑨災害情報電話通報サービスの導入

人材育成

- 福山防災大学における防災リーダーの育成
- 地域における防災講座の開催(講師:防災リーダー)

自主防災組織の活性化

- ⑨防災をテーマとした地域との意見交換会
- ⑨自主防災組織の活動費などの一部助成



(2) 本格化する人口減少への備え

(予算額:2,355,935千円)

新たな人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに**9つの人物像**を設定し、産業界や金融機関、大学、市民代表と連携して、まずは現役世代を減らさないことを目標に取り組みます。

2040年の目標

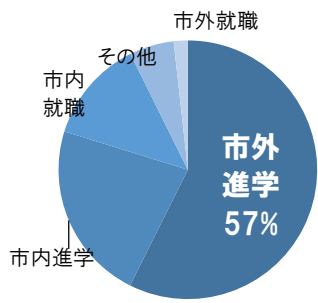
多様なライフスタイルが実現できるまち

- チャレンジへの選択肢がたくさんある
- 希望のライフスタイルへのサポート
- 多様性を尊重しあえる心

ライフステージごとの課題

進学時

高校生の進学/就職状況



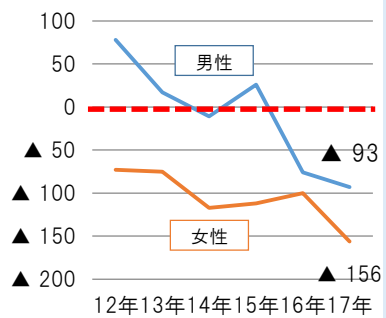
出所:広島県学校基本調査、高校生進学先調査(福山市)から作成

進学時の転出超過

- ・高校生の約6割が市外に進学(うち4割が大学)

就職期

(人) 20~24歳 転出入増減



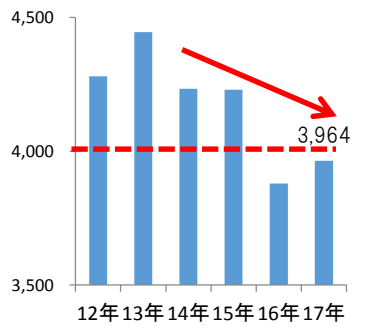
出所:住民基本台帳を基に作成

就職期における転出超過

- ・20代前半で転出が増加傾向、20代後半以降で外から呼び込む力が低下

結婚・出産

(人) 出生数



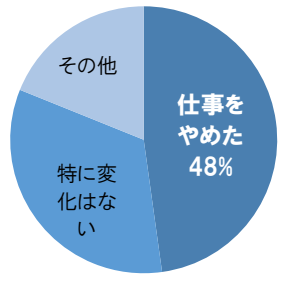
出所:厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

出生数の減少

- ・出生数が4,000人を下回る
- ・2012年以降、自然減が継続

子育て

結婚や出産後の仕事の変化



出所:「市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)」から作成

子育てと仕事の両立に対する負担

- ・5割の女性が結婚や出産を機に退職

① 政策ターゲット(ペルソナ)の設定

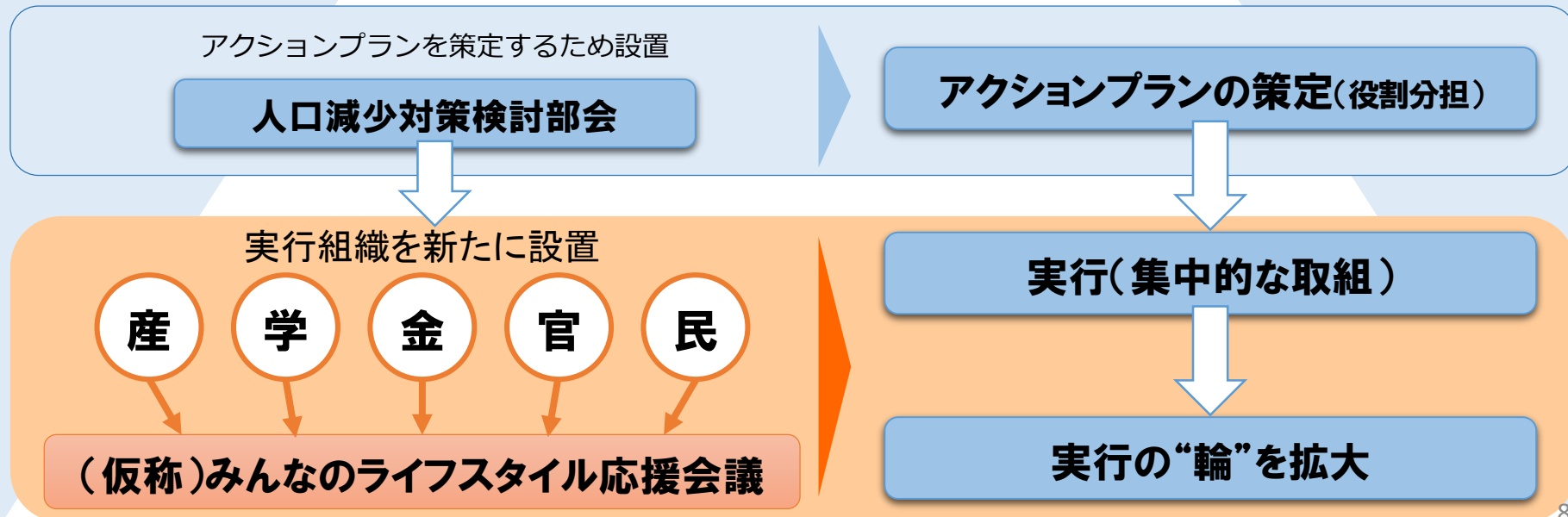
満足度を高める施策を構築

ペルソナ9



② 推進体制の構築

産学金官民で役割分担, そして、チャレンジ!



③ 重点ペルソナの主な事業



高3進学女子

福山で暮らす“未来を描く”



市内企業の認知度向上と郷土愛の醸成

○市内企業などの出張授業による企業の魅力発信【民間主導】

新キャリアデザイン×ライフデザインの支援 **戦略マネ**

市内の教育機能の向上と定住促進

新未来社会をデザインする特別講座の開講

○市外大学への通学費支援



就活大学生

企業と学生が“出会う”

市内企業とのマッチング強化

○市内企業と市外学生とのマッチング強化

○市内企業への就職活動費などの支援

○女性の働く環境改善企業への支援



子育て共働き女性

子どもの成長に“幸せ”を感じる

ネウボラを中心とした子育て支援の充実

新（仮称）子育てパパ活躍日の実施【民間主導】

新子育て世代も楽しめるまちなかパーク整備

○子どもの医療費助成制度の拡充

新保育人材確保の強化による保育の質的向上

子育てと仕事の両立推進

新子育てにやさしい企業の発信

新（仮称）働き方改革の“輪”広がる

プロジェクト **戦略マネ**



※ **戦略マネ** … 戦略推進マネージャー（兼業・副業限定の戦略顧問）による人口減少対策事業



共働き夫婦（子どもがほしい）

妊娠・出産・子育ての“不安解消”

ネウボラを中心とした妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援

○不妊治療や不育症治療に対する経済的負担の軽減

新風しん抗体検査の実施

妊娠と仕事の両立推進

○不妊治療と仕事の両立支援



[参考]その他戦略推進マネージャーによる人口減少対策事業

ペルソナ：Uターン転職未婚男女

新ワーケーションの推進（首都圏クリエイティブ人材のお試し移住）

(3) 備後の拠点都市としての備え

(予算額:6,144,176千円)

福山駅前の再生や民間企業・大学と連携した先端技術によるまちづくりの推進など、魅力と活力あふれる都市づくりを進めることで、人や企業、情報が集まる備後の中核都市としての拠点機能を高めます。

① 福山駅前の再生

○(仮称)デザイン計画の策定

- ・駅前再生に向けたプロジェクトやスケジュール

○みんなで創るまちなか公園

- ・中央公園にカフェなどを誘致(実証実験, 公募)
- ・**新**住民などによるまちなか公園整備を支援

○備後圏域の玄関口としての再生

- ・**新**三之丸町地区の再生
- ・福山駅北口広場の整備(基本計画策定)

○リノベーションまちづくり

- ・福山ならではの新しいコンテンツの創出



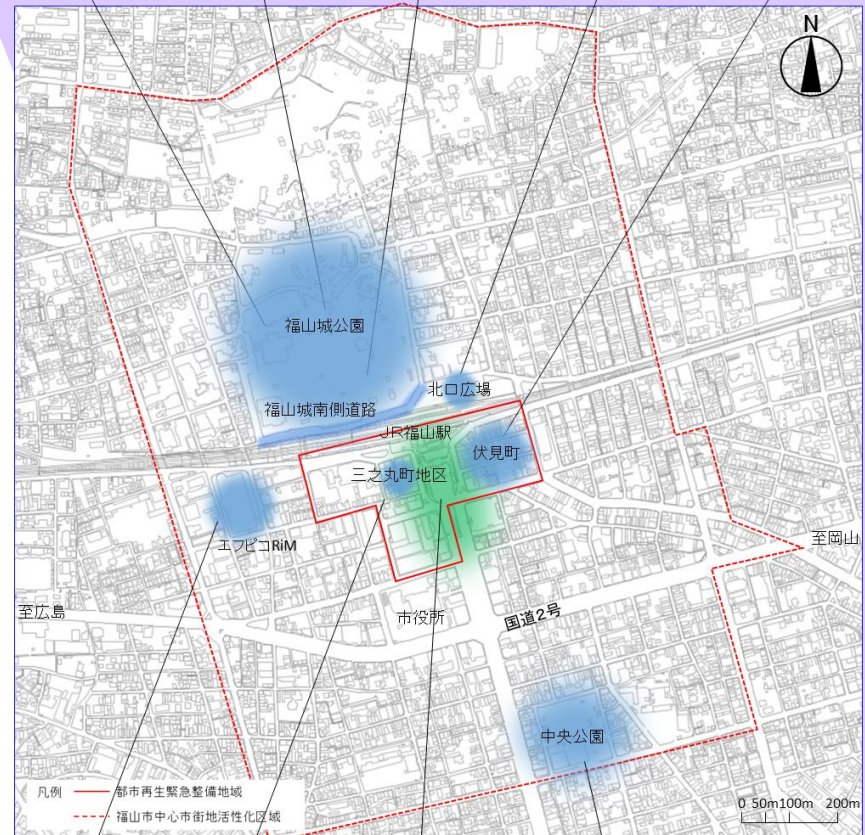
福山城公園
・景観形成推進事業
・福山城公園の夜間景観照明整備事業
・福山城VR制作事業

福山城天守等
・福山城天守閣他改修工事

福山城南側道路
・福山城周辺道路整備

福山駅北口広場
・北口広場再整備基本計画検討

伏見町
・リノベーションまちづくり



エフビコRiM
・リノベーションによる再生手法検討

三之丸町地区
・旧キャスバ等の建替え

福山駅前等歩道空間
・福山駅前等歩道空間活用社会実験(OPEN STREET FUKUYAMA)

中央公園・中央図書館
・中央公園Park-PFI導入

福山駅周辺都市公園
・福山駅周辺都市公園活用促進事業

② まるごと実験都市ふくやまの推進



先端技術の実証や研究

① IoTやAIを活用したオンデマンド交通

- ・利用者の予約に応じた交通手段の実証と効率的なルートなどの検討

② 実証実験の積極的な受入れ

- ・①実証実験まるごとサポート事業（実証実験のPRや場所の提供）など

③ ドローン活用の研究

- ・備後圏域で実施

官民連携プラットフォーム

先端技術による まちづくり官民協議会



ソフトバンクやシャープ、市内企業、大学と連携し、まちづくりへの先端技術活用を推進



先端技術を導入する事業

① AIを活用した受診勧奨

- ・過去の健診（検診）の結果を分析

② ①おまちモビリティ事業（官民連携）

- ・鞆町内にグリーンスローモビリティ（小型の電動低速車両）を導入し、高齢者・観光客の移動手段を確保

5Gとドローンを用いたバーチャル飛行体験



先端技術を
まちづくりへ活用

鞆町内を走る
グリーンスロー
モビリティ



③ ばらのまちづくり

○世界バラ会議に向けた取組(2024年開催)

- 市民や企業との連携による、世界バラ会議の周知や機運の醸成
- ・基本計画の策定 など

○ばらのまち福山PR大使による魅力発信

- ・ばら祭などでのイベント開催
- ・駅前アートプロジェクト(ニコライバーグマンさんプロデュースによるオブジェの設置)



④ ばらのまち福山国際音楽祭2019

<開催日> 2019年10月10日～13日(4日間)

<会場> リーデンローズ, 神辺文化会館, 沼隈サンパル など

みんなで創る

- ・市民による「祝祭音楽団」の結成(合唱・管弦楽・邦楽)



次世代育成

- ・(仮称)未来につなぐ子どもたちへのコンサート(市立小学校5年生を招待)
- ・(仮称)ママあのおねコンサート(妊娠中の女性などを招待)
- ・若手演奏家への公開レッスン



国際交流・過去と未来の懸け橋

- ・海外プロオーケストラによるコンサート



⑤ 福山城築城400年に向けた取組

○入封400年プロジェクト

- ・水野勝成ゆかりの地(鞆, 神辺, 新市, 沼隈・内海, 福山城)での記念事業
- ・**新**水野勝成入封400年企画展・特別展, シンポジウムの開催 など

○福山城築城400年に向けた取組

- ・**新**浅野氏広島城入城400年記念事業との連携
- ・福山城の保存整備(福山城耐震改修設計, 公園整備, 石垣調査)
- ・福山城ライトアップの整備



⑥ スポーツを核とした地域活性化

拠点施設の整備

- ・総合体育館と公園, (仮称)かわまち広場の一体的な整備
- ・スポーツ施設の再編

総合体育館などを活用したにぎわいの創出

- ・**新**完成式典やオープニングイベント, プロスポーツの試合誘致
- ・**新**サイクリングイベントの開催, サイクリングロードの整備

誰もがスポーツを楽しめる機会の創出

- ・**新**アスリートや民間事業者による魅力的なスポーツ事業の創出支援

オリンピックムーブメントによるスポーツ機運の醸成

- ・メキシコオリンピックチームの事前合宿受入れ
- ・**新**パラグアイオリンピックチームの事前合宿受入体制の構築
- ・JOCによるオリンピック教室



【参考】5つの挑戦を支える主な施策

※1～13ページ掲載の施策を含む

挑戦1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

予算額:491,197千円

- 駅前周辺エリアの価値を高める「(仮称)デザイン計画」の策定
- ①三之丸町地区優良建築物等整備事業
- リノベーションまちづくりを担う人材の育成・確保
- 世界バラ会議に向けた取組
 - ・基本計画の策定, ロゴマークの制作 など
- ばらのまち福山PR大使による魅力発信
 - ・ニコライバーグマンさんプロデュースによるオブジェの設置

- ①首都圏クリエイティブ人材のお試し移住
- ①ビックデータなどを活用した移住ターゲット(子育て層)への効果的な情報発信
- ①サイクリングロードの整備・活用



挑戦2 希望の子育て, 安心の医療・福祉とまちの活力の創出

予算額:3,367,714千円

- ①保育人材確保の強化による保育の質的向上
- 子どもの医療費助成制度の拡充
- AIを活用した健診(検診)の受診勧奨
- 障がい者が働きやすい職場環境の充実
 - ・①就労継続支援A型事業所の適正な運営に向けた経営改善実態調査 など
- 介護予防の推進
 - ・いきいき百歳体操, 居場所づくりの推進 など



挑戦3 まちの成長をけん引する産業づくり・防災

予算額:5,184,734千円

- ①備後圏域における地域経済循環促進調査・分析
- 創業支援の強化
 - ・Fuku-Bizによる創業支援, 大学発ベンチャー創出支援 など
- ①多様な働き方実現プロジェクト
 - ・民間企業と連携した兼業・副業などの推進

- 先端技術を活用した地域課題の解決
 - ・①IoTやAIを活用したオンデマンド交通
- 実証実験の積極的な受入れ
 - ・①実証実験まるごとサポート事業(実証実験のPRや場所の提供)
- ①繊維産業の担い手育成の支援
- 国・県と連携した抜本的な浸水対策

挑戦4 夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

予算額：1,603,939千円

新「学びを拓く学校図書館」充実プラン

・知的好奇心や探究心を喚起する図書の充実 など

○小学校「学びづくりフロンティア校」事業

○中学校「教科の専門性パワーアップ」事業

○学力の伸びを把握する調査

○芸術・文化体験の充実

・美術館やばらのまち福山国際音楽祭への招待

新部活動指導員の導入

新空調設備の整備

○ICT教育機器の整備

○中学校給食完全実施に向けた整備

○学校規模・学校配置の適正化

・(仮称)千年小中一貫教育校の設計 など

新福山市立大学の公立大学法人化準備

○官民協働による留学支援



○地域コミュニティの再構築

・新モデル事業の実施

・新学校再編後の地域づくり など

○未来づくり活動への支援

○夢・未来プロジェクト

・中学生の夢の実現に向けたチャレンジを応援



挑戦5 文化・スポーツの振興

予算額：5,843,921千円

○福山城築城400年に向けた取組

新日本遺産を活用した地域活性化

新グリーンスローモビリティ導入(鞆地区)

・小型の電動低速車両による高齢者などの移動手段確保

○総合体育館と公園、(仮称)かわまち広場の一体的な整備・活用

○メキシコオリンピックチームの事前合宿受入れ

新サイクリングを活用したスポーツ振興

・サイクリングイベントの開催 など



JAPAN HERITAGE
日本遺産



連携中枢都市圏構想 ～6市2町連携の取組～ (予算:841,796千円)

本市の拠点機能を高めるとともに、備後圏域6市2町（福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市）の連携を更に強化することで、本市のみならず圏域全体の発展につなげていきます。

産業 経済成長のけん引

- ・Fuku-Bizによる創業支援の強化
- ・大学発ベンチャー創出支援
- ・備中備後ジャパデニムプロジェクト
- ・備後圏域ワインプロジェクト
- ・**新**農福連携推進事業
- ・**新**サイクリングエリアの整備

都市機能 高次都市機能の集積・強化

- ・**新**医療スタッフ確保策の検討
医療連携に関する調査分析を踏まえた
具体策の検討
- ・高度医療機器の整備

住民サービス 生活関連機能サービスの向上

- ・**新**次期ごみ処理施設の整備
- ・**新**循環型エネルギー供給システムの研究
次期ごみ処理施設の余熱利用方法や新電力による再生可能エネルギーの地産地消事業の研究

Pick UP1 圏域経済の活性化へ 人材確保対策パッケージ

圏域全体の課題である中小企業などの人材確保に向けて、企業規模に応じたきめ細かな支援を行います。

【中小企業～小規模事業者】

- ・**新**“学食”でつなぐマッチング機会の提供
大学の「学食」などの場を活用し、学生と社会人が食事をしながら気軽に交流
- ・**新**女性が働きやすい企業のPR強化

【小規模事業者】

- ・**新**採用力強化事業
・人材確保に係るセミナーの開催
・小規模事業者特有の課題に対応 など

経済循環促進策の検討

- ・**新**経済成長を支える施策構築に向けた調査・分析



Pick UP2 地域医療を充実 看護職員の確保

- ・**新**広島県と連携した看護職員の再就職支援を強化(広島県ナースセンターサテライトを設置(県事業))

Pick UP3 外国人の生活を支援 医療通訳ボランティア養成研修・派遣事業

日本語に不安がある外国人住民でも安心して医療・保険サービスが受けられるよう、医療通訳ボランティアの養成・派遣に取り組めます。

- ・**新**ボランティア養成研修
・5言語(英語・中国語・ベトナム語・タガログ語・ポルトガル語)を予定
- ・**新**医療機関への派遣
・医療機関の依頼に応じた通訳ボランティアの派遣

ふくやま未来づくりビジョン

- ・頻発する“自然災害”への備え
- ・“多様なライフスタイルの実現”を目標とする人口減少対策
- ・“官民連携”で推進する福山駅前の再生など



Fukuyama City

活力と魅力に満ちた輝く都市へ

みんなで創る
ふくやまの未来

SDGs

- ・「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SDGs 17の国際目標